

中経論壇

経営支援NPOクラブ監事

吉田 仁



あつたという。

「指導者に求められる資質は、知性、説得力、肉体上の耐久力、自己制御の能力、持続する意志の五つである。カエサルだけが、このすべてを「持っていた」。イタリアの普通高校の歴史教科書に載っていると、塩野七生が「ローマ人の物語」に書いている。カエサルの弁論術については、以前本欄で書いたことがある。

「カエサルの市民や部下に訴える力は群を抜いていた。古代において、自分の考えを相手方に明確に伝える技術として、修辭学は必須の学問であり、他人を説得する力は、指導層にとって重要な能力で

あったという。説得力とは、説明する力である。イギリス国会の党首討論は、政党間で説明力を駆使して、国民への説得力を競うものであるし、アメリカの教育ではディベートを重視していると言われる。コロナ下におけるドイツのメルケル首相の国民への呼びかけは高く評価されたが、欧米では公的な場での説明力の重要さは伝統になっているようだ。

翻つて、日本の状況はどうだろう。同じコロナ下でも、国民への語り掛けのまよさが指摘されてきた。政権トップの思いが国民に届かないのだから、訴える力が劣っていると言わざるを得ない。そして、

説得力と説明責任

それ以上に重大なのは、そもそも説明責任を果たさずしていろいろな問題があるが、私が最も憂慮するのは、学術会議メンバーの任命拒否についての説明が未だなされていないことである。本来、学問の世界に政治が介入することは避けるべきと思うが、政府に任命権限があるというなら、余計に任命できない理由を明らかにすべきである。月日の経過の中で、国民は忘れてしまっ

が国民に認められたと思っ

た。一方、説明責任を果たすべきことは、公人の場合だけの問題ではない。情報技術の進歩によって、私たちは、多くの自己表現のツールを得た。SNSによって、不特定多数に向けて、だれもが容易に自分の意見を発信することが可能になった。そうした中、匿名による誹謗(ひぼう)中傷が行われ、社会問題化している。新聞や雑誌への投稿の場合は、発行機関のチェックがあるから、ブラックジャーナリズムでない限り、こうしたことは起こらなかった。匿名での投稿は、説明責任の埒(らち)外で成り立ちうる。表現の自由で隠れることなく、便利なツールが使えるようになった今こそ、一人一人が、説明責任を伴った行動をすべきであろう。

英雄カエサルのような説得力は持てないまでも、公人であるにしろ私人であるにしろ、自分の行動について、せめて説明責任は果たすよう心がけたいものである。

総選挙の結果により、説明しない姿勢

は、説明責任を果たすべ

い程度である。いろ

んな問題がある

が、私が最も憂慮す

るのは、学術会議メ

ンバーの任命拒否に

ついての説明が未だ

なされていないこと

である。本来、学問

の世界に政治が介入

することは避けるべ

きと思うが、政府に

任命権限があるとい

うなら、余計に任命

できない理由を明ら

かにすべきである。

月日の経過の中で、

国民は忘れてしまっ

た。一方、説明責任を

果たすべきことは、

公人の場合だけの

問題ではない。情報

技術の進歩によっ

て、私たちは、多

くの自己表現のツ

指導層にとって重要な能力